

## 倫理審査委員会 議事録

1. 日 時 : 平成 28 年 10 月 14 日 (木) 15:00 ~ 17:05

2. 場 所 : 大会議室

3. 出席者 : 別紙のとおり

4. 議 題

(1) 平成 28 年度臨床研究部申請課題について

各研究者から別添の申請書等により概要を説明。

→ 全ての申請課題において、研究実施期間(開始)は倫理審査委員会承認後とする。

①医療観察法病棟におけるケアコーディネーター研修の役割の考察

・目的を整理し、研究計画書、インタビューガイドなどの研究に使用する書式を添付して再提出してもらい、再度審議を行うため承認しない。

②長期抗精神病薬服用患者の排便力を高める

・最終目的を明確にし、研究計画書及び研究に使用する書式を添付して再提出してもらい、再度審議を行うため承認しない。

③対人交流の苦手な患者へ当事者研究を活用した看護

・看護で何を行うのか最終目的を明確にし、同意撤回書など研究に使用する書式を添付して再提出してもらい、再度審議を行うため承認しない。

④強度行動障害がある自閉症患者の破衣行為に対する行動療法を用いた看護

・倫理上特に問題ないことから、承認とする。

⑤精神科救急病棟における身体機能と心理機能の回復に関する研究

・研究計画書、アンケート用紙など、研究に使用する書式を添付して再提出してもらい再度審議を行うため承認しない。

⑥理学療法における身体機能と心理機能の回復に関する研究

- ・申請書の対象、倫理配慮を見直し、研究計画書、アンケート用紙、GHQ 30、同意撤回書など研究に使用する書式を添付して再提出してもらい再度審議を行う。

⑦入院処遇から通院処遇を経ないで処遇終了となる事例の予後調査（継続）

- ・既に承認を受けた研究の継続申請であることから、承認とする。

⑧心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の予後についての研究（継続）

- ・既に承認を受けた研究の継続申請であることから、承認とする。

⑨CVPPPの普及を目指して一院内2日間研修の試みー

- ・研究計画書、アンケート用紙など、研究に使用する書式を添付して再提出してもらい再度審議を行うため承認しない。

⑩医療観察法病棟における当事者研究の活用に関する研究

- ・既に承認を受けた研究の継続申請であることから、承認とする。

(2) その他

- ・特になし

以 上

## 平成28年度第2回倫理審査委員会 議事録

1. 日 時 : 平成28年11月25日(金) 15:00～17:05

2. 場 所 : 大会議室

3. 出席者 : 別紙のとおり

4. 議 題

(1)平成28年度臨床研究部申請課題について

各研究者から別添の申請書等により概要を説明。

→ 全ての申請課題において、研究実施期間(開始)は倫理審査委員会承認後とする。

①医療観察法病棟におけるケアコーディネーター研修の役割の考察

- ・誰がどのような話をしたのか解らないように匿名化し、また、患者様も匿名化しますと明記し、同意書と同意撤回書または同等の物をインタビュー内容に添付することで条件付き承認。

②長期抗精神病薬服用患者の排便力を高める

- ・"向精神病薬"の"病"を取り、向精神薬とするか、または、抗精神病薬を用いた用語を統一する。「患者さんの体調管理を第一として医師と供に行ってまいります。」「下痢などの有害事象発生時には直ちに中止します。」を明記することで条件付き承認。

③対人交流の苦手な患者へ当事者研究を活用した看護

- ・プライバシーの保護についてにある当事者研究の際に使用する情報を用いた用紙について、出席する患者さんの情報も載るのであれば、情報が載っている患者さんの同意書か誓約書が必要、及びデータ処分の方法を記載することで条件付き承認。

④精神科救急病棟における身体機能と心理機能の回復に関する研究

- ・「収集したシートはカルテに保存し、シートから得られた情報は匿名化して研

究に使用する。」を説明書に記入、個人情報の保管方法を具体的に（鍵の掛かるロッカーに保管など）記入する。また、個人への利益として早期退院、適切な退院支援を記入することで条件付き承認。

⑤理学療法における身体機能と心理機能の回復に関する研究

- ・取得したデータと患者さんの関連づけを匿名化し、プライバシーの保護について「カルテに綴り厳重に保管します。」を追加。また、研究を一時中断して再度始める場合について記載することで条件付き承認。

⑥CVPPPの普及を目指して一院内2日間研修の試み

- ・アンケートの保管期間及び、集計後の処分方法「集計後シュレッダーで破棄」を記載することで条件付き承認。

(2) その他

- ・特になし

以上